

令和3(2021)年度16ミリ映写機技術指導者研修 実施報告

日時 令和3(2021)年5月12日(水) 14:00~16:30

会場 総合教育センター202研修室

本研修は、市町等で行われる「16ミリ映写機技術者養成講習会」を企画・運営するために必要な知識や、16ミリ映写機の操作方法の指導の留意点などを学ぶ研修です。今年度は、講習会を開催する各教育事務所の視聴覚教育担当職員や視聴覚ライブラリー職員、映写ボランティアの役員など8名が受講しました。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策として、密を避けること、マスク着用、検温、換気などの対策に加え、機器操作時の手袋着用や機器の消毒を行い、研修を実施しました。

講話「16ミリ映写機技術者養成講習会の企画・運営について」

当センター職員から、講習会の開催要領、指導課程、指導内容、映写機操作方法の指導のポイントなどについて説明を受けました。

また、講習会では受講者を評価するための学科と実技の試験を行うので、学科試験の出題のポイントや実技試験の評価の観点などについても確認しました。



実習「16ミリ映写機の操作実習」

はじめに、栃木県視聴覚ライブラリーで作成した「24コマの雨」という16ミリ映写機の特徴や操作方法などを紹介した映像を視聴しました。

続いて、当センター職員から、16ミリ映写機の操作方法と指導のポイントについて実演による説明を受けました。受講者はフィルムの装填から映写までの一連の動作を行い、講習会で指導する際に気を付けることを確認しました。



また、フィルム接合機を使い、16ミリフィルムが切れた時の接合実習を行いました。

研修終了後、受講者は当センター生涯学習部の荒井部長から修了証を授与されました。本研修の成果を生かして、各地区で充実した講習会を企画・運営していくことを期待しています。



<受講者の感想から>

- ・講習会を行う時に、今度は教える側として、今回の研修で学んだこと、注意すべき点などを生かせるようにしたいと思います。
- ・「24コマの雨」でパーフォレーションが切れる瞬間が見られたので、改めて慎重に操作すること、フィルムをていねいに扱うことの大切さを学びました。

※本研修は隔年開催ですので、次回開催は令和5(2023)年度の予定です。お問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部へお願いします。

TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp